

一般社団法人静岡県信用金庫協会

第67回県内信用金庫連携による合同景況調査結果

一般社団法人静岡県信用金庫協会（会長 田形 和幸）は、平成17年(2005年)10月以降、県内信用金庫連携による合同景況調査を実施しています。

各信用金庫が協力して取引先企業1,201社にアンケート調査を実施し、1,197社から得た回答（有効回答99.7%）をもとに、県内経済を支える地元企業を広く網羅して分析したものです。

静岡県信用金庫協会では、地域に密着した信用金庫ならではの情報提供を通じて地域に貢献し、信用金庫の存在意義を高めていきたいと考えております。

**「県内中小企業等の景況感DIはやや改善」****【概況】**

2023年4~6月の県内中小企業等の業況DI（企業の景況感を示す、「良い」とする企業割合から「悪い」とする企業割合を引いた数値）は、前回調査時（2023年1月～3月「以下同じ」）の▲17.3から▲13.2と4.1ポイントのやや改善となった。

業種別にみると、建設業（前回調査▲1.9→今回調査▲11.0）はマイナス化、小売業（▲26.0→▲28.7）はやや悪化したものの、卸売業（▲21.1→▲11.3）、製造業（▲21.9→▲12.3）、サービス業（▲20.9→▲11.5）、不動産業（▲2.8→0.0）は改善した。

これを地区別の業況DIでみると、中部地区はほぼ横ばい、東部地区、西部地区は改善した（地区別の詳細は次頁のとおり）。なお、各地区とも、仕入価格や原材料価格の高騰が続いていることや、人手不足を経営課題として掲げている。

**県内合計及び地区別DIの推移（全産業）**

	2021年			2022年				2023年		
	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9 (見通し)
東部地区	▲38.0	▲32.7	▲25.1	▲35.9	▲26.4	▲19.6	▲14.1	▲18.9	▲17.6	▲11.5
中部地区	▲26.4	▲40.8	▲13.6	▲25.8	▲27.0	▲25.6	▲12.5	▲9.4	▲9.8	▲8.7
西部地区	▲23.0	▲25.9	▲21.3	▲27.5	▲23.7	▲19.1	▲10.9	▲18.7	▲11.8	▲11.8
県内計	▲28.2	▲30.2	▲21.3	▲29.9	▲25.0	▲20.3	▲12.1	▲17.3	▲13.2	▲11.2

2023年7~9月の業況見通しは、西部は横ばい、東部、中部は改善としていることから、県全体で、やや改善の予想となっている。

## ■東部

東部では、建設業が▲22.1 ポイント(15.3⇒▲6.8)と悪化し、小売業が▲0.8 ポイント(▲30.1⇒▲30.9)とほぼ横ばいであるものの、卸売業が27.0 ポイント(▲35.1⇒▲8.1)、不動産業が11.8 ポイント(▲11.8⇒0.0)、サービス業が3.6 ポイント(▲26.0⇒▲22.4)、製造業が2.1 ポイント(▲22.3⇒▲20.2)と改善したことから、全産業ベースの業況DIは、前回調査時の▲18.9 から▲17.6 へ、1.3 ポイントのやや改善となった。

## 製造業

業況は、依然として原材料価格の高騰の影響は受けているものの、コロナ禍の収束により受注が増加したことなどから、やや改善している。

今後の見通し(2023年7~9月期・以下同じ)としては、原材料価格の高騰は当面続くものと予想されるが、価格転嫁の実施が見込まれることから、業況は改善を見込んでいる。

### (事業者の声)

- 原材料の高騰分を売上価格に転嫁でき始めたことで収益性は改善傾向にある。 (紙加工業)
- 受注量は増加するものの、原材料価格の上昇により収益が減少となる。 (輸送用機械器具製造業)
- 新型コロナウイルスが第5類へ移行したことにより売上増加の見通しではあるが、原材料と仕入れコストの上昇により収益面は圧迫されている。 (酒類製造業)

## 卸売業

業況は、仕入価格の高騰は続いているものの、価格転嫁でき始めたことなどから、改善している。

今後の見通しとしては、仕入価格の高騰の長期化が懸念されることから、業況は悪化を見込んでいる。

### (事業者の声)

- コロナ前の売上水準に戻ってきており、業況回復傾向。 (花・植木)
- コロナ収束のため、旅館への卸売・飲食店ともに売上増加傾向にある。 (鮮魚)
- 仕入価格高騰により販売価格を上昇させたが、収益確保できている。 (業務用食品)
- 仕入価格の高騰を受け、業況は厳しい状況である。今後、経費の削減を行い、業況改善に努めていく方針。 (介護用品卸売業)

## 小売業

業況は、仕入価格の上昇分を販売価格に転嫁するものの、光熱費の高騰の影響を受けていることから、ほぼ横ばいとなっている。

今後の見通しとしては、仕入価格の上昇は当面続くと懸念されるものの、夏にかけて観光客の増加やネット販売による販路拡大などを見込んでいるため、業況は改善を見込んでいる。

### (事業者の声)

- アフターコロナやインバウンド消費に期待しているものの、仕入価格や電気代の高騰が続く限り収益は厳しい。 (食料品、日用品小売業)
- 外国人観光客の増加により売上は回復している。イベントも行うことで通年での売上確保を見込んでいる。 (土産物小売業)
- 仕入先の値上げ要請が強いが、既往顧客に対しての販売価格に転嫁できていない。同業者の攻勢もあり、新規顧客の獲得は難しい状況である。 (LPガス販売業)

## サービス業

業況は、コロナ禍の収束により、売上、収益ともに上昇傾向にあることから、やや改善している。

今後の見通しとしては、新型コロナウイルス感染症の5類移行により景気回復が見込まれることから、業況は改善を見込んでいる。

### (事業者の声)

- アフターコロナの状況下、昨年より売上増加傾向にある反面、食材や燃料費の高騰が売り上げに転嫁できていない状況。夏季の売上増加に期待。 (温泉旅館)
- 物流業界の「2024年問題」への取組みを行っている。一か月間のテスト走行を行い、経費の見直しを検討している。 (運送業)

- ・人材確保に際しては、女性が活躍しやすい環境の整備に力を入れている。

(清掃用品リース業)

### 建設業

業況は、依然として原材料価格の高騰の影響が大きいことから、悪化している。

今後の見通しは、材料費の高騰が比較的落ち着いてくると予想されることから、業況は改善を見込んでいる。

(事業者者の声)

- ・材料費の高騰による影響のみではなく、同業者間の競合案件も多く、収益性が低い受注が増加している。併せて人手不足が顕著であり、技術者退職への不安が大きい。  
(総合建設業)
- ・資材高騰分の利益を確保できるよう、高付加価値住宅の販売推進に注力している。  
(一般住宅建設業)
- ・国や県の公共工事は価格転嫁できるが、一部市町村では価格転嫁できない状況有り。  
(土木工事業)

### 不動産業

業況は、不動産の売買の活発化による売上の増加から、改善している。

今後の見通しとしては、大きな懸念材料は無く、売上、仕入価格に変動が少ないと見込んでいる。

(事業者者の声)

- ・建設コスト高により、中古物件や中古マンションの問い合わせが増加している。  
(不動産仲介)
- ・資材高騰の中、住宅購入者が減少傾向にあるが、富裕層からの相続対策用の物件の問い合わせは一定して多い。  
(仲介業)
- ・分譲地の販売は、当面避けたい。小型の区画で多く販売していく方針。  
(不動産販売業)

### ■中部地区

中部では、不動産業が(18.2⇒18.2)プラスの状態で横ばい、サービス業が17.3ポイント(▲13.0⇒4.3)のプラス化、卸売業が10.8ポイント(▲17.9⇒▲7.1)、建設業が3.7ポイント(▲11.1⇒▲7.4)、製造業1.9ポイント(▲5.7⇒▲3.8)と改善したものの、小売業が▲28.9ポイント(▲25.9⇒▲54.8)と大幅に悪化したことから、全産業ベースの業況DIは、前回調査時の▲9.4から▲9.8とほぼ横ばいとなった。

### 製造業

業況は、原材料価格の高騰などの影響はあるものの、コロナ禍の収束などから、やや改善している。

今後の見通しとしては、原材料価格の高騰など先行き不透明であるものの、受注の増加などから、業況は改善を見込んでいる。

(事業者者の声)

- ・コロナ禍の影響により木材価格が約2倍まで上昇したが、現在は落ち着いている。最近では県外からの受注が戻ってきており、市場は動き始めていると感じる。  
(木造家具製造)
- ・半導体の供給が回復しており、業況は回復する見込み。  
(自動車部品製造)
- ・コロナ禍の収束により取引先からの受注が活発化、但し物価高騰の影響は大きい。  
(銑鉄鋳物製造)
- ・5月開催のホビーショーが大成功を収め、今後の取引(海外含む)に期待ができる。(プラスチックモデル製造)

### 卸売業

業況は、仕入価格の上昇の影響を受けてはいるものの、販売価格への転嫁も進んでいることから、改善している。

今後の見通しとしては、仕入単価の上昇による収益の減少から、業況は悪化を見込んでいる。

(事業者者の声)

- ・販売価格について順次取引先に対して交渉を行い、一定程度の理解を得られている。  
(食品卸売)
- ・値上げをしたが、これ以上の価格転嫁は厳しい。  
(家具卸売)
- ・事業拡大に向け海外展開を計画しており、様々な外部機関へ相談している。  
(茶類卸売)
- ・事業再構築補助金を活用しアンテナショップを開業、今後はECサイトでの販売を強化してゆく。  
(鮮魚卸)

- ・雇用確保（特に若年層）が喫緊の課題としてクローズアップされてきている。

(食料品・飲料)

### 小売業

業況は、仕入価格の上昇分による、収益の減少などから、大幅に悪化している。  
今後の見通しとしては、仕入価格は上昇するものの、販売価格への転嫁が期待されることから、業況は改善するものの、引き続き高いマイナス水準を見込んでいる。

(事業者の方)

- ・仕入価格上昇の価格転嫁は進むも、光熱費上昇の転嫁は進んでいない。 (水産加工品小売)
- ・輸入家具は円安の影響を受け、価格が高騰している。その為、中古品の販売・修理を強化している。 (輸入家具小売)
- ・客足の鈍化を懸念しており、値上げを行っていないため利益率が低下している。 (菓子小売)
- ・コロナによる内食特需により売上が増加したが、近時は外食機会が増えたことから売上が伸び悩んでいる。 (鮮魚小売)

### サービス業

業況は、材料費、光熱費の高騰の影響があるものの、売上の増加から改善し、プラス化となっている。  
今後の見通しとしては、コロナ禍の収束や原材料価格が落ち着いてくるとの期待による、売上や収益の増加から、業況は改善を見込んでいる。

(事業者の方)

- ・新型コロナウイルス感染症が5類に移行したこと、少しずつではあるが来店客は戻ってきていている。(飲食業)
- ・コロナの影響で中止していたイベントや行事が再開され、ヘアセットの予約が増加。 (美容業)
- ・コロナ禍の影響を大きく受けたが徐々に戻りつつある。但しコロナ前の常連客が戻るかは未知数。 (宿泊・宴会)
- ・2月頃から徐々に需要が回復しており客室販売価格を値上げした。但し、電気代の上昇の影響は大きい。 (ビジネスホテル)
- ・市街のテナントで営業しているが、家賃や水道光熱費の上昇で収益性が悪化したため家賃の安い郊外へ移転する予定。 (マッサージ施術)

### 建設業

業況は、請負価格の上昇や受注の増加から、やや改善している。  
今後の見通しとしては、受注の増加から、業況は改善を見込んでいる。

(事業者の方)

- ・材料費の高騰が大きいものの、施工価格に転嫁できており問題ない。 (塗装工事)
- ・受注および売上は減少傾向にあったが、徐々に回復している。但し、前期の水準までは回復していない。 (総合建設)
- ・コロナ禍以前の営業体制に戻し、売上の回復に努めしていく。 (鉄骨工事)
- ・従業員が高い技術を取得できるよう資格等のサポートにも力を入れている。 (土木工事)
- ・人手不足は深刻であり、常時人材を募集している状況。 (給排水設備工事)

### 不動産業

業況は、売上、収益の増加から、プラス水準が続き横ばいになっている。  
今後の見通しとしては、商品物件の不足や同業者間の競争激化などから、業況は悪化を見込んでいる。

(事業者の方)

- ・不動産の価格は上昇傾向にあり、仕入値、販売価格共に上昇している。 (不動産売買)
- ・木材や建築資材の高騰により新築物件の販売価格が上昇しており、購入に対して躊躇する様子が見受けられるものの、中古物件については通常通り流通している。 (不動産仲介)
- ・収益は増加傾向にあるものの、仕入価格の上昇や建築費の高騰が問題となっている。今後はコロナの影響が薄れ対面販売が可能となることから売上増加が期待される。 (不動産賃貸仲介管理)

・商品物件不足、人材不足に懸念有り。宣伝や情報収集に傾注していく。

(不動産仲介)

・今後は帳票等の電子化対応を含めて、事務面のIT化を進める必要性を感じている。

(不動産仲介)

## ■西部地区

西部では、建設業が▲11.7 ポイント ( $\Delta 3.9 \Rightarrow \Delta 15.6$ )、不動産業が▲1.8 ポイント ( $\Delta 5.9 \Rightarrow \Delta 7.7$ ) と悪化したものの、製造業が 13.3 ポイント ( $\Delta 24.4 \Rightarrow \Delta 11.1$ )、サービス業 11.7 ポイント ( $\Delta 19.0 \Rightarrow \Delta 7.3$ )、小売業が 7.0 ポイント ( $\Delta 20.6 \Rightarrow \Delta 13.6$ )、卸売業が 1.3 ポイント ( $\Delta 15.6 \Rightarrow \Delta 14.3$ ) と改善したことから、全産業ベースの業況DI は前回調査時の▲18.7 から▲11.8 へと 6.9 ポイントの改善となった。

### 製造業

業況は、売上、受注残、収益の増加から、改善している。

今後の見通しとしては、原材料価格の上昇などがあるものの、売上の増加などから、業況はやや改善を見込んでいる。

#### (事業者の方)

- ・大手取引先の増産により業況は好調に推移している。 (二輪車ほか)
- ・主要取引先からの受注は安定しており、業況は堅調に推移している。 (自動車)
- ・不良品の削減に努め収益性は改善した。 (機械)
- ・コロナ禍の影響が収束し、売上が伸びてきている。 (繊維)
- ・原材料費及びエネルギー価格の上昇が収益を圧迫している。 (自動車・二輪車・機械他)
- ・従業員の高齢化が進んでおり、若手の人材確保が課題となっている。 (楽器)

### 卸売業

業況は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、人流が回復してきたことによる、売上、収益の増加から、やや改善した。

今後の見通しとしては、仕入価格の上昇が続くことが予想されることから、業況は悪化を見込んでいる。

#### (事業者の方)

- ・人流の増加に伴い、食品メーカーからの受注は増えている。 (包装資材)
- ・コロナ禍も収束に向かい、今後の設備投資を期待している。 (オフィス用品)
- ・対面営業が再開され、売上の増加を見込んでいる。 (機械)
- ・受注が回復傾向にあり、コロナ禍前に戻りつつある。 (洗剤ほか)
- ・仕入価格は上昇しているが、価格転嫁しきれていない。 (衣服ほか)

### 小売業

業況は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことによる売上、収益の増加から、改善している。

今後の見通しとしては、仕入価格の上昇や人手不足などによる売上、収益の減少から、業況は悪化を見込んでいる。

#### (事業者の方)

- ・恒例の祭りが開催され、売上が増加した。 (菓子)
- ・新店舗のスタートは好調。卵等の材料費の高値についての懸念あり。 (菓子)
- ・気温が高いため、エアコンや空調の問い合わせが例年より多い。 (家電)
- ・電気代高騰の対策として、省エネ補助金を活用しLED照明に変更した。 (ガソリンスタンド)
- ・人手不足が課題、デジタル化を進めたい。 (食品)
- ・価格転嫁に苦慮している。 (菓子・茶・生活用品・食品他)

### サービス業

業況は、「全国旅行支援」に加え、大河ドラマの舞台となっていることもあり観光客が増えたことによる売上の

増加などから、改善している。

今後の見通しとしては、仕入価格の上昇が続いていることから、業況はほぼ横ばいを見込んでいる。

(事業者の声)

- ・新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、売上は増加傾向にある。 (飲食ほか)
- ・全国旅行支援、大河ドラマの影響で、宿泊客は増加している。 (宿泊)
- ・コロナ禍と比べ、利用客は増加している。 (レジャー)
- ・人手不足が深刻化している。 (宿泊ほか)
- ・電気料金等の経費の増加により、利益の確保に苦慮している。 (飲食)

### 建設業

業況は、材料価格の高騰や人手不足が深刻化していることから、悪化している。

今後の見通しとして、材料価格の高騰に対して価格転嫁できないことによる収益の減少などから、業況はやや悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・完工高は前期比で増加したが、材料費の高騰により利益は変わらなかった。 (一般建築)
- ・自社の人材が不足しているうえに下請け企業の確保も難しくなってきてている。 (土木)
- ・賃上げを実施したものの人材確保は苦戦している。 (土木・建築)
- ・受注状況に応じて、賃上げや一時金の支給を検討している。 (土木・建築)
- ・材料費などの価格転嫁の交渉も落ち着き、収益は改善した。 (総合建設)

### 不動産業

業況は、個人賃貸物件の入居率は安定的に推移し入居斡旋の依頼は増えてきているものの、建築価格の高騰により新築物件の流通は低調であることから、やや悪化している。

今後の見通しとしては、コロナ禍からの回復による商品土地の流通の増加から 業況はやや改善を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・コロナ禍の影響はなく、賃貸収入は安定して推移している。 (不動産賃貸ほか)
- ・建築価格が高騰しており、土地の購入希望者は減少傾向となっている。 (不動産仲介)
- ・商品土地の流通量は増加しつつある。 (不動産仲介)
- ・求人広告を出しているが、人材確保には至っていない。 (不動産賃貸)
- ・代表者、従業員とも高齢であり、事業を縮小して対応している。 (不動産仲介・斡旋)

[お問い合わせ先]

(一社)静岡県信用金庫協会

電話：054-255-5530

資料 1

1. 業況(全業種)

	今回調査(2023年4~6月期)						前回調査(2023年1~3月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
東部地区	4.1%	15.1%	44.0%	28.3%	8.5%	▲ 17.6	2.5%	16.4%	43.4%	28.1%	9.6%	▲ 18.9
中部地区	2.2%	14.7%	56.5%	20.7%	6.0%	▲ 9.8	3.9%	18.3%	46.1%	25.6%	6.1%	▲ 9.4
西部地区	2.2%	16.1%	51.6%	24.5%	5.6%	▲ 11.8	1.4%	14.8%	49.0%	28.6%	6.3%	▲ 18.7
県内合計	2.8%	15.6%	50.0%	25.1%	6.5%	▲ 13.2	2.1%	15.8%	46.8%	28.0%	7.3%	▲ 17.3

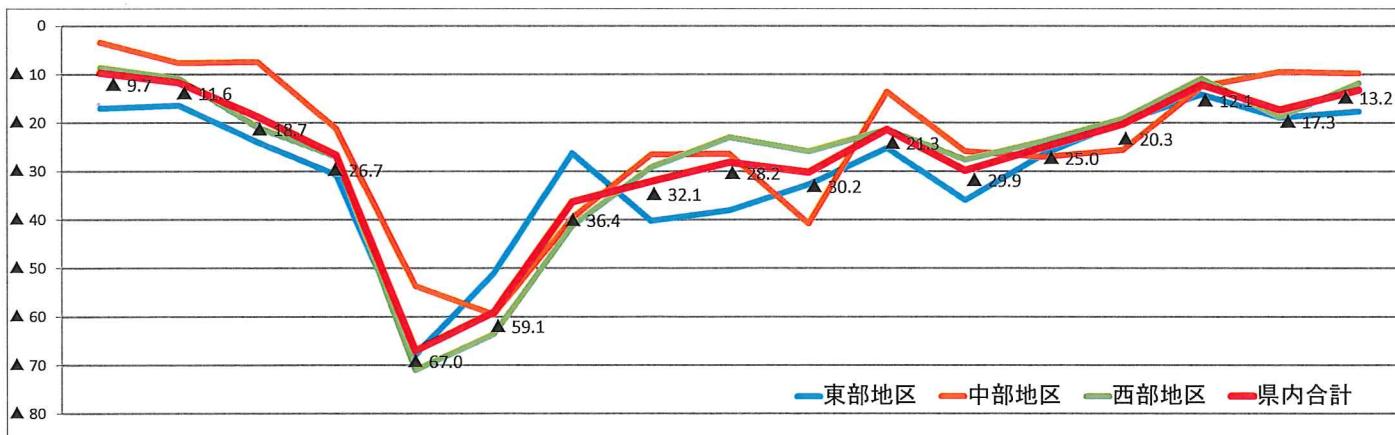
2. 業況予想(全業種)

	2023年7月~9月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
東部地区	2.7%	16.5%	50.0%	24.7%	6.0%	▲ 11.5
中部地区	1.1%	16.8%	55.4%	22.3%	4.3%	▲ 8.7
西部地区	1.1%	15.4%	55.3%	23.8%	4.5%	▲ 11.8
県内合計	1.6%	15.9%	53.7%	23.8%	4.9%	▲ 11.2

3. 業況(DI)の推移(全業種)

	2019年 4~6月期	2019年 7~9月期	2019年 10~12月期	2020年 1~3月期	2020年 4~6月期	2020年 7~9月期	2020年 10~12月期	2021年 1~3月期	2021年 4~6月期	2021年 7~9月期	2021年 10~12月期	2022年 1~3月期	2022年 4~6月期	2022年 7~9月期	2022年 10~12月期	2023年 1~3月期	2023年 4~6月期
東部地区	▲ 16.9	▲ 16.3	▲ 24.0	▲ 30.6	▲ 67.0	▲ 50.9	▲ 26.2	▲ 40.2	▲ 38.0	▲ 32.7	▲ 25.1	▲ 35.9	▲ 26.4	▲ 19.6	▲ 14.1	▲ 18.9	▲ 17.6
中部地区	▲ 3.4	▲ 7.6	▲ 7.4	▲ 21.1	▲ 53.7	▲ 59.6	▲ 39.7	▲ 26.6	▲ 26.4	▲ 40.8	▲ 13.6	▲ 25.8	▲ 27.0	▲ 25.6	▲ 12.5	▲ 9.4	▲ 9.8
西部地区	▲ 8.5	▲ 10.9	▲ 20.9	▲ 26.9	▲ 71.0	▲ 63.6	▲ 41.3	▲ 29.1	▲ 23.0	▲ 25.9	▲ 21.3	▲ 27.5	▲ 23.7	▲ 19.1	▲ 10.9	▲ 18.7	▲ 11.8
県内合計	▲ 9.7	▲ 11.6	▲ 18.7	▲ 26.7	▲ 67.0	▲ 59.1	▲ 36.4	▲ 32.1	▲ 28.2	▲ 30.2	▲ 21.3	▲ 29.9	▲ 25.0	▲ 20.3	▲ 12.1	▲ 17.3	▲ 13.2

県内合計及び地区別DIの推移(全産業)



資料 2

・業種別業況

1. 東部地区

	今回調査(2023年4~6月期)						前回調査(2023年1~3月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	4.8%	12.5%	45.2%	27.9%	9.6%	▲ 20.2	2.9%	16.5%	38.8%	33.0%	8.7%	▲ 22.3
卸売業	2.7%	24.3%	37.8%	24.3%	10.8%	▲ 8.1	0.0%	18.9%	27.0%	35.1%	18.9%	▲ 35.1
小売業	6.2%	12.3%	32.1%	37.0%	12.3%	▲ 30.9	1.2%	12.0%	43.4%	27.7%	15.7%	▲ 30.1
サービス業	2.0%	14.3%	44.9%	32.7%	6.1%	▲ 22.4	2.0%	14.0%	42.0%	34.0%	8.0%	▲ 26.0
建設業	5.1%	16.9%	49.2%	22.0%	6.8%	▲ 6.8	3.4%	25.4%	57.6%	11.9%	1.7%	15.3
不動産業	0.0%	17.6%	64.7%	17.6%	0.0%	0.0	5.9%	11.8%	52.9%	26.5%	2.9%	▲ 11.8
全業種	4.1%	15.1%	44.0%	28.3%	8.5%	▲ 17.6	2.5%	16.4%	43.4%	28.1%	9.6%	▲ 18.9

2. 中部地区

	今回調査(2023年4~6月期)						前回調査(2023年1~3月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	1.9%	15.1%	62.3%	15.1%	5.7%	▲ 3.8	0.0%	30.2%	34.0%	32.1%	3.8%	▲ 5.7
卸売業	3.6%	21.4%	42.9%	17.9%	14.3%	▲ 7.1	7.1%	3.6%	60.7%	25.0%	3.6%	▲ 17.9
小売業	0.0%	3.2%	38.7%	51.6%	6.5%	▲ 54.8	7.4%	7.4%	44.4%	22.2%	18.5%	▲ 25.9
サービス業	0.0%	13.0%	78.3%	8.7%	0.0%	4.3	8.7%	17.4%	34.8%	39.1%	0.0%	▲ 13.0
建設業	7.4%	14.8%	48.1%	22.2%	7.4%	▲ 7.4	0.0%	18.5%	51.9%	18.5%	11.1%	▲ 11.1
不動産業	0.0%	22.7%	72.7%	4.5%	0.0%	18.2	4.5%	22.7%	63.6%	9.1%	0.0%	18.2
全業種	2.2%	14.7%	56.5%	20.7%	6.0%	▲ 9.8	3.9%	18.3%	46.1%	25.6%	6.1%	▲ 9.4

3. 西部地区

	今回調査(2023年4~6月期)						前回調査(2023年1~3月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	1.8%	18.1%	49.1%	24.4%	6.6%	▲ 11.1	0.6%	14.3%	45.7%	32.9%	6.4%	▲ 24.4
卸売業	1.3%	18.2%	46.8%	28.6%	5.2%	▲ 14.3	2.6%	18.2%	42.9%	29.9%	6.5%	▲ 15.6
小売業	1.5%	19.7%	43.9%	25.8%	9.1%	▲ 13.6	3.2%	9.5%	54.0%	23.8%	9.5%	▲ 20.6
サービス業	0.0%	17.1%	58.5%	22.0%	2.4%	▲ 7.3	0.0%	7.1%	66.7%	26.2%	0.0%	▲ 19.0
建設業	5.2%	9.1%	55.8%	26.0%	3.9%	▲ 15.6	2.6%	23.7%	43.4%	22.4%	7.9%	▲ 3.9
不動産業	3.8%	5.8%	73.1%	17.3%	0.0%	▲ 7.7	2.0%	11.8%	66.7%	15.7%	3.9%	▲ 5.9
全業種	2.2%	16.1%	51.6%	24.5%	5.6%	▲ 11.8	1.4%	14.8%	49.0%	28.6%	6.3%	▲ 18.7

4. 県内合計

	今回調査(2023年4~6月期)						前回調査(2023年1~3月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	2.5%	16.6%	49.7%	24.1%	7.2%	▲ 12.3	1.0%	16.5%	43.0%	32.9%	6.6%	▲ 21.9
卸売業	2.1%	20.4%	43.7%	25.4%	8.5%	▲ 11.3	2.8%	15.5%	42.3%	30.3%	9.2%	▲ 21.1
小売業	3.4%	13.5%	37.6%	35.4%	10.1%	▲ 28.7	2.9%	10.4%	47.4%	25.4%	13.9%	▲ 26.0
サービス業	0.9%	15.0%	56.6%	23.9%	3.5%	▲ 11.5	2.6%	12.2%	49.6%	32.2%	3.5%	▲ 20.9
建設業	5.5%	12.9%	52.1%	23.9%	5.5%	▲ 11.0	2.5%	23.5%	50.0%	17.9%	6.2%	1.9
不動産業	1.9%	13.0%	70.4%	14.8%	0.0%	0.0	3.7%	14.0%	61.7%	17.8%	2.8%	▲ 2.8
全業種	2.8%	15.6%	50.0%	25.1%	6.5%	▲ 13.2	2.1%	15.8%	46.8%	28.0%	7.3%	▲ 17.3

### 資料 3

#### ・業種別予想

##### 1. 東部地区

	2023年7月～9月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	1.9%	17.3%	51.9%	20.2%	8.7%	▲ 9.6
卸売業	0.0%	18.9%	43.2%	27.0%	10.8%	▲ 18.9
小売業	4.9%	15.9%	36.6%	35.4%	7.3%	▲ 22.0
サービス業	0.0%	18.4%	49.0%	28.6%	4.1%	▲ 14.3
建設業	3.4%	15.5%	62.1%	17.2%	1.7%	0.0
不動産業	5.9%	11.8%	64.7%	17.6%	0.0%	0.0
全業種	2.7%	16.5%	50.0%	24.7%	6.0%	▲ 11.5

##### 2. 中部地区

	2023年7月～9月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	1.9%	17.0%	62.3%	13.2%	5.7%	0.0
卸売業	0.0%	10.7%	60.7%	21.4%	7.1%	▲ 17.9
小売業	0.0%	12.9%	29.0%	51.6%	6.5%	▲ 45.2
サービス業	0.0%	17.4%	73.9%	8.7%	0.0%	8.7
建設業	0.0%	29.6%	44.4%	22.2%	3.7%	3.7
不動産業	4.5%	13.6%	63.6%	18.2%	0.0%	0.0
全業種	1.1%	16.8%	55.4%	22.3%	4.3%	▲ 8.7

##### 3. 西部地区

	2023年7月～9月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	0.9%	19.6%	50.6%	23.5%	5.4%	▲ 8.4
卸売業	0.0%	15.6%	49.4%	31.2%	3.9%	▲ 19.5
小売業	1.5%	10.6%	54.5%	24.2%	9.1%	▲ 21.2
サービス業	2.5%	10.0%	67.5%	20.0%	0.0%	▲ 7.5
建設業	1.3%	7.8%	64.9%	24.7%	1.3%	▲ 16.9
不動産業	1.9%	9.6%	71.2%	15.4%	1.9%	▲ 5.8
全業種	1.1%	15.4%	55.3%	23.8%	4.5%	▲ 11.8

##### 4. 県内合計

	2023年7月～9月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	1.2%	18.8%	52.1%	21.7%	6.1%	▲ 7.8
卸売業	0.0%	15.5%	50.0%	28.2%	6.3%	▲ 19.0
小売業	2.8%	13.4%	41.9%	34.1%	7.8%	▲ 25.7
サービス業	0.9%	15.2%	60.7%	21.4%	1.8%	▲ 7.1
建設業	1.9%	14.2%	60.5%	21.6%	1.9%	▲ 7.4
不動産業	3.7%	11.1%	67.6%	16.7%	0.9%	▲ 2.8
全業種	1.6%	15.9%	53.7%	23.8%	4.9%	▲ 11.2